

2020年9月の天候（山形県）

目 次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値
- 4 気象経過図
- 5 気象分布図
- 6 極値・順位値更新
- 7 その他

山形地方気象台

本資料に関する問い合わせ先

山形地方気象台

T E L 023-622-0632

F A X 023-633-0620

[注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田、新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。資料中の観測値は、後日、内容を訂正・追加する場合があります。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

1 天候経過（2020年9月）

【今月の特徴】

○上旬の記録的な高温 ○庄内の多雨

- ・酒田、浜中では、4日の日降水量、日最大1時間降水量が9月として第1位を更新した。
- ・山形、酒田、新庄、米沢など21地点で、3日、7日、8日のいずれかの日に日最高気温の高い方から9月として第1位を更新した。
- ・飛島など4地点で、3日または7日に日最低気温の高い方から9月として第1位を更新した。

【概況】

月

上旬は高気圧に緩やかに覆われ晴れる日が多かったが、前線等の影響で庄内では大雨になる日もあった。その後は前線や低気圧の影響により、全般に曇りや雨の日が多く、県内の広い範囲で大雨となる日もあった。

月の前半は暖かい空気に覆われやすかったため、特に上旬は厳しい暑さが続き、日最高気温が35℃以上の猛暑日となるなど、記録的な高温の日もあった。

月平均気温はかなり高い。月降水量は村山、置賜、最上では概ね平年並、庄内では多く、かなり多い所もあった。月間日照時間は村山、置賜では平年並から少ない、庄内、最上では多いから平年並。

上旬

高気圧に緩やかに覆われ晴れる日が多かったが、前線や気圧の谷の影響を受けることもあり、天気は数日周期で変化した。4日は、前線と湿った空気の影響で大気の状態が非常に不安定となったため、庄内で大雨になり、庄内北部では1時間に80mm以上の猛烈な雨となった。また、9日も庄内で大雨となった所があった。なお、気温の高い日が続く、2日と3日、7日、8日は日最高気温が35℃以上の猛暑日となった所があった。

旬平均気温はかなり高い。旬降水量は少ないから平年並だが、庄内では多い。月間日照時間は多く、庄内、最上ではかなり多い。

中旬

前線や低気圧の影響により曇りや雨の日が多かった。11日は前線の影響で大気の状態が不安定となり、置賜で大雨となった所があった。13日から14日にかけては日本海の低気圧からのびる前線が東北南部を通過したため、県内の広い範囲で大雨となった。また、18日は東北地方を通過した低気圧と前線の影響により、庄内で大雨となった。

旬平均気温は高く、庄内でかなり高い所があった。旬降水量は平年並から多く、庄内でかなり多かったが、置賜では少ない所もあった。旬間日照時間は平年並から少ない。

下旬

はじめと終わりは高気圧に覆われて晴れる日もあったが、低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。25日は台風第12号から変わった低気圧が関東の東から三陸沖に北上した影響により、県内の広い範囲で大雨となった。

旬平均気温は平年並から高い。旬降水量は多いから平年並。旬間日照時間は平年並、村山、置賜で少ない所もあった。

2 日々の気圧配置（2020年9月）

- 1日：高気圧が千島の東にあって、本州付近に張り出す。
- 2日：高気圧が千島の東にあって、本州付近に張り出す。
- 3日：高気圧が北日本を緩やかに覆う。一方、台風第9号が朝鮮半島にあって北へ進む。
- 4日：前線が沿海州から日本海を通過して西日本にのびる。一方、高気圧が北日本を緩やかに覆う。
- 5日：前線が日本海から西日本にのびる。一方、高気圧が北日本を緩やかに覆う。
- 6日：高気圧が北日本を緩やかに覆う。
- 7日：高気圧が北日本を緩やかに覆う。一方、台風第10号が対馬近海にあって北へ進む。
- 8日：高気圧が日本付近を緩やかに覆う。一方、低気圧が中国東北区にあってほとんど停滞する。
- 9日：高気圧が東北地方を緩やかに覆う。一方、前線が西日本から東日本にのびる。
- 10日：前線が西日本から東日本を通過して東北地方にのびる。
- 11日：前線が西日本から東北地方を通過して日本の東にのびる。
- 12日：前線が東北地方に停滞する。
- 13日：低気圧が日本海中部にあって北東へ進み、前線が東北南部にのびる。
- 14日：低気圧が日本海中部にあって北北東へ進む。また、別の低気圧が三陸沖にあって東へ進む。
- 15日：低気圧が日本海北部にあって北東へ進む。一方、高気圧が千島近海にあって東北地方に張り出す。
- 16日：北日本は高気圧に緩やかに覆われる。一方、本州の南岸には前線が停滞する。
- 17日：西日本から東日本にのびる前線が、ゆっくり北上する。
- 18日：前線が西日本から北日本にのび、前線上の低気圧が東北地方を北東へ進む。
- 19日：本州付近は高気圧に緩やかに覆われる。
- 20日：低気圧が日本海にあって東へ進む。
- 21日：東北地方は気圧の谷通過後、高気圧に緩やかに覆われる。
- 22日：北日本はサハリン付近の高気圧に緩やかに覆われる。
- 23日：台風第12号が日本の南にあって北東へ進む。一方、オホーツク海の高気圧が東北地方に張り出す。
- 24日：台風第12号が関東の東で温帯低気圧に変わり、ゆっくり北東へ進む。一方、オホーツク海の高気圧が東北地方に張り出す。
- 25日：台風第12号から変わった低気圧が関東の東にあって北へ進む。
- 26日：低気圧が三陸沖にあって北北東へ進む。また、別の低気圧が佐渡付近にあって東北東へ進む。
- 27日：東北地方は気圧の谷となる。
- 28日：日本付近は朝鮮半島付近に中心を持つ高気圧に次第に覆われる。
- 29日：本州付近は高気圧に覆われる。一方、低気圧が父島付近にあって北東へ進む。
- 30日：本州付近は高気圧に緩やかに覆われる。一方、低気圧が日本の東にあって北東へ進む。

3 気候統計値（2020年9月）

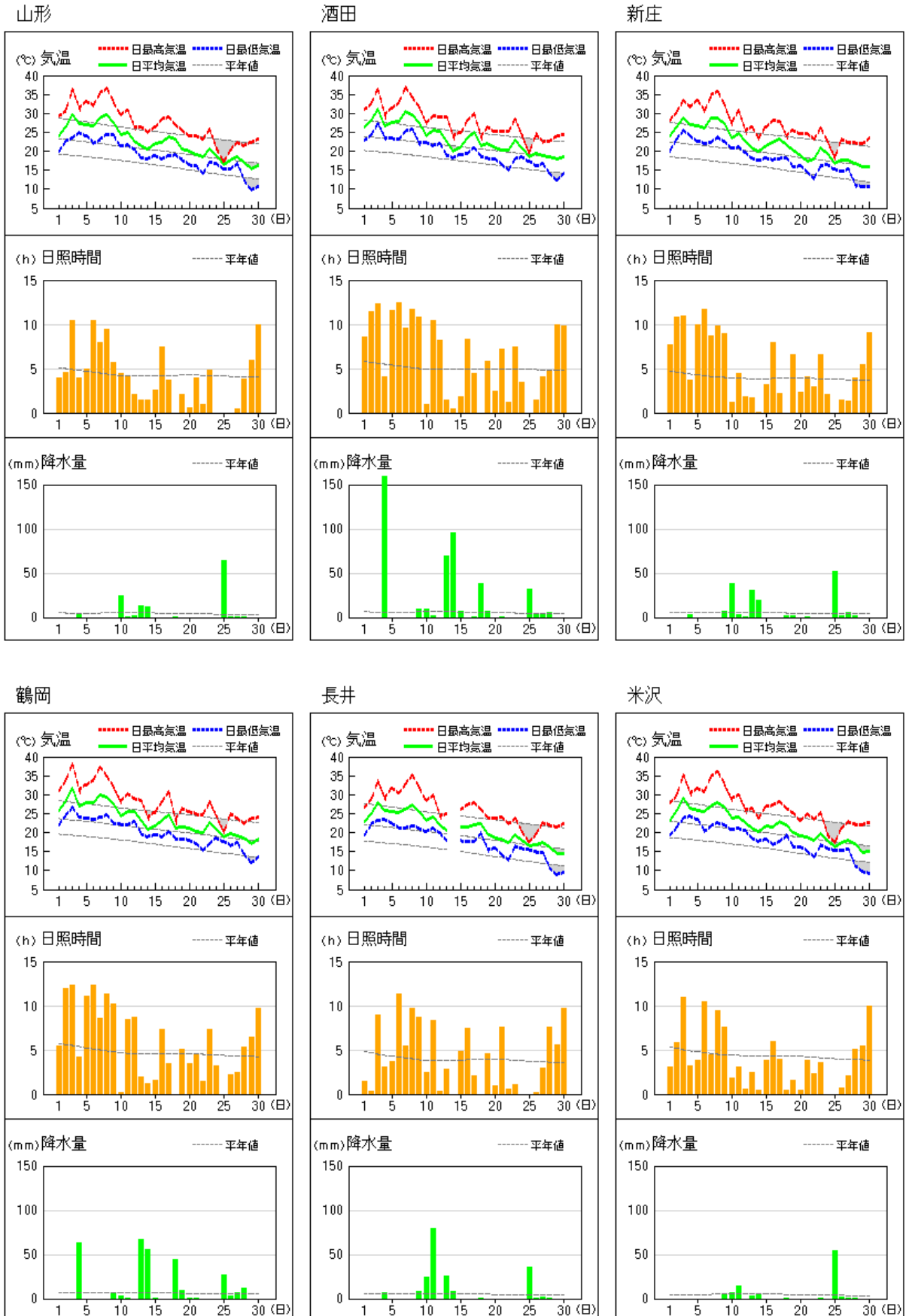
		平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
		本年	平年差 （℃）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分
山形	上旬	27.2	+4.7	かなり高い	28.5	70	平年並	65.9	141	多い
	中旬	22.2	+1.9	高い	28.5	55	平年並	25.7	63	少ない
	下旬	17.9	+0.3	平年並	66.0	190	多い	29.9	73	少ない
	月	22.4	+2.3	かなり高い	123.0	97	平年並	121.5	94	少ない
酒田	上旬	28.0	+4.8	かなり高い	179.5	333	かなり多い	93.5	170	かなり多い
	中旬	22.7	+1.6	高い	219.5	345	かなり多い	43.4	91	少ない
	下旬	19.7	+0.8	高い	46.5	104	平年並	49.4	101	平年並
	月	23.5	+2.4	かなり高い	445.5	275	かなり多い	186.3	124	かなり多い
新庄	上旬	26.7	+5.0	かなり高い	48.0	101	平年並	83.6	193	かなり多い
	中旬	21.6	+2.0	高い	58.0	101	平年並	30.2	80	少ない
	下旬	17.6	+0.7	高い	61.0	155	多い	36.9	97	平年並
	月	22.0	+2.6	かなり高い	167.0	116	平年並	150.7	127	かなり多い
米沢	上旬	26.2	+4.0	かなり高い	12.5	30	少ない	60.5	124	多い
	中旬	21.6	+1.7	高い	23.5	44	少ない	22.6	52	少ない
	下旬	17.3	0.0	平年並	57.5	152	多い	33.0	85	平年並
	月	21.7	+1.9	かなり高い	93.5	70	少ない	116.1	89	少ない

注】次の表示の場合 X:欠測) : 準正常値] : 資料不足値 - : 現象なし。

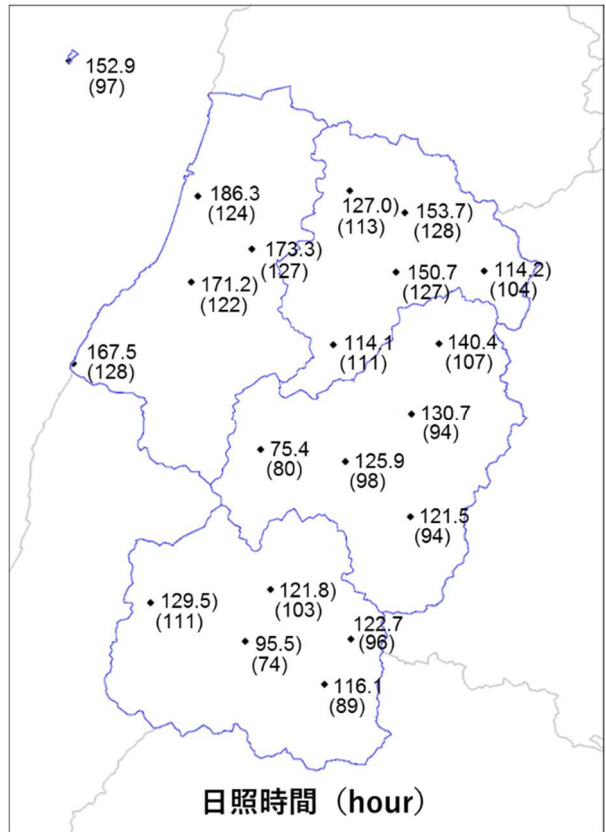
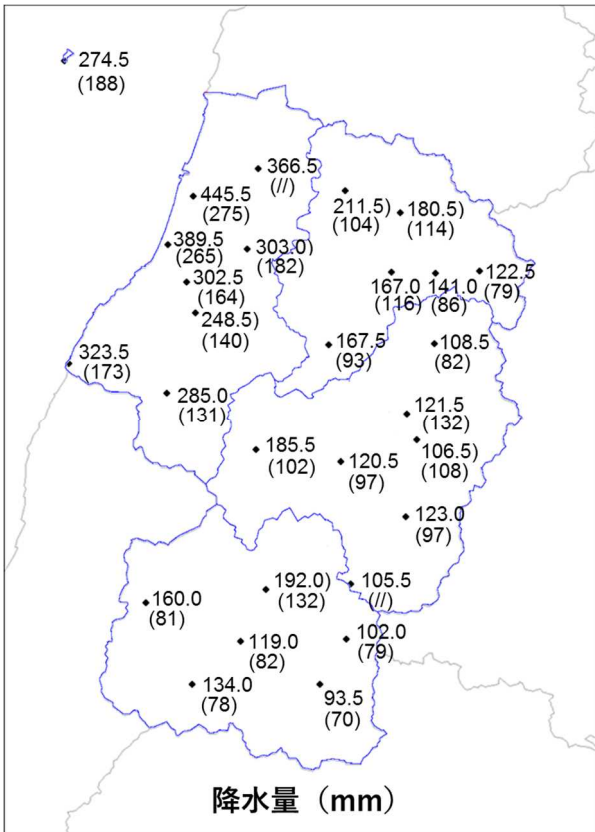
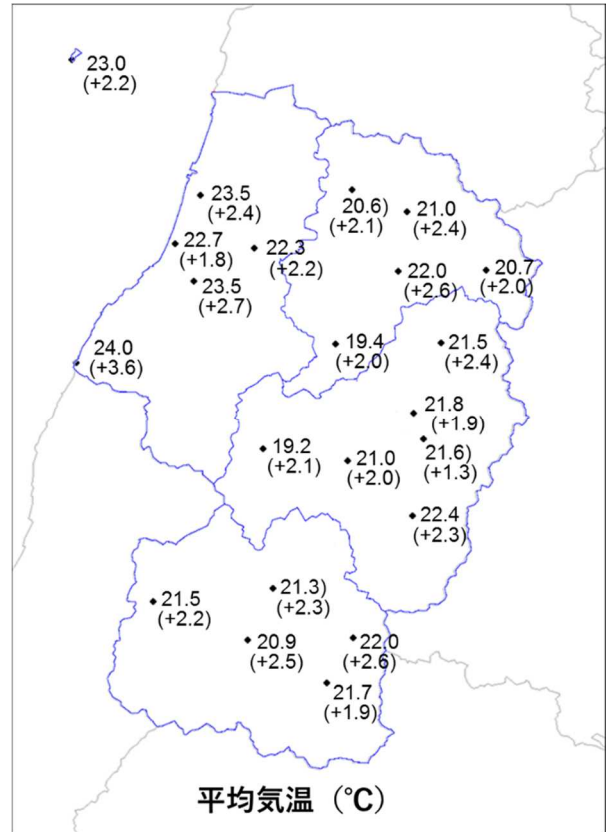
平年値は1981～2010年の平均値。

4 気象経過図（2020年9月）

アメダス 気象経過図：2020年09月01日-2020年09月30日



5 気象分布図（2020年9月）



注】) は準正常値、]は資料不足値を示す。

平均気温の () 内は平年差 (°C)、降水量の () 内は平年比 (%)、日照時間の () 内は平年比 (%) を示す。
平年値は1981~2010年の平均値。

6 極値・順位値更新表 (2020年9月)

気象官署及び特別地域気象観測所(山形・酒田・新庄)9月として第1位～3位更新を記載

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日降水量 (mm)	酒田	159.5	1	9月4日	1937年
日最大1時間降水量 (mm)	酒田	76.5	1	9月4日	1937年
月最大24時間降水量 (mm)	酒田	159.5	1	9月4日	1962年
月降水量の多い方から (mm)	酒田	445.5	2	-	1937年
日最高気温の高い方から (℃)	山形	36.6	1	9月8日	1889年
日最高気温の高い方から (℃)	山形	36.5	2	9月3日	1889年
日最高気温の高い方から (℃)	酒田	36.8	1	9月7日	1937年
日最高気温の高い方から (℃)	酒田	36.5	2	9月3日	1937年
日最高気温の高い方から (℃)	新庄	35.7	1	9月8日	1957年
日最高気温の高い方から (℃)	新庄	34.8	2	9月7日	1957年
日最低気温の高い方から (℃)	山形	24.9	3	9月4日	1889年
日最低気温の高い方から (℃)	酒田	27.3	2	9月3日	1937年
日最低気温の高い方から (℃)	新庄	25.5	2	9月3日	1957年
月平均気温の高い方から (℃)	山形	22.4	2	-	1889年
月平均気温の高い方から (℃)	酒田	23.5	2	-	1937年
月平均気温の高い方から (℃)	新庄	22.0	2	-	1957年
日最小相対湿度 (%)	酒田	24	1	9月30日	1950年

※同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

地域気象観測所(山形・新庄・酒田除く):9月として第1位更新を記載(統計期間10年以上)

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日降水量 (mm)	浜中	112.5	1	9月4日	2003年
日最大1時間降水量 (mm)	浜中	67.5	1	9月4日	2003年

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日最大1時間降水量 (mm)	長井	71.5 ^{*1}	1	9月11日	1976年
月降水量の多い方から (mm)	浜中	389.5	1	-	2003年
日最高気温の高い方から (℃)	差首鍋	34.2	1	9月8日	1977年
日最高気温の高い方から (℃)	浜中	36.3	1	9月7日	2003年
日最高気温の高い方から (℃)	金山	34.5	1	9月8日	1977年
日最高気温の高い方から (℃)	鶴岡	38.2	1	9月3日	1977年
日最高気温の高い方から (℃)	狩川	34.5	1	9月7日	1977年
日最高気温の高い方から (℃)	向町	34.8	1	9月8日	1977年
日最高気温の高い方から (℃)	肘折	32.4	1	9月8日	1977年
日最高気温の高い方から (℃)	尾花沢	34.5	1	9月8日	1976年
日最高気温の高い方から (℃)	鼠ヶ関	39.1	1	9月3日	1977年
日最高気温の高い方から (℃)	村山	35.2	1	9月8日	2002年
日最高気温の高い方から (℃)	東根	36.7	1	9月7日	2003年
日最高気温の高い方から (℃)	大井沢	33.3	1	9月8日	1979年
日最高気温の高い方から (℃)	左沢	34.7	1	9月8日	1977年
日最高気温の高い方から (℃)	長井	35.3	1	9月8日	1977年
日最高気温の高い方から (℃)	小国	35.6	1	9月3日	1977年
日最高気温の高い方から (℃)	高畠	36.8	1	9月8日	1977年
日最高気温の高い方から (℃)	高峰	35.3	1	9月8日	1977年
日最高気温の高い方から (℃)	米沢	36.1	1	9月8日	1976年
日最低気温の高い方から (℃)	飛島	27.2 ^{*1}	1	9月3日	1979年
日最低気温の高い方から (℃)	浜中	26.3	1	9月3日	2003年
日最低気温の高い方から (℃)	鼠ヶ関	27.9	1	9月7日	1977年

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日最低気温の高い方から (℃)	高峰	23.8	1	9月3日	1977年

※同じ値（タイ記録）の場合は起日の新しい方を上位とする

※1：年間を通じても第1位を更新

7 その他

・東北南部の梅雨入り・梅雨明け時期（確定値）について

気象庁では、気象予測をもとに行う梅雨の入り明けの速報とは別に、梅雨の季節が過ぎてから、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行っています。令和2年の山形県を含む東北南部の梅雨入り・明けの時期について、次のように確定しました。

なお、当初発表した東北南部の梅雨入り時期(速報値)は、6月11日ごろ、梅雨明け時期(速報値)は、8月2日ごろで、確定値と同じでした。

東北南部	令和2年	平 年	梅雨期間の降水量（平年値）平年比 梅雨期間：6月11日～8月1日
梅雨入り	6月11日ごろ	6月12日ごろ	山形 533.5mm (249.5mm) 214% 酒田 571.0mm (307.4mm) 186%
梅雨明け	8月2日ごろ	7月25日ごろ	新庄 677.5mm (302.7mm) 224% 米沢 448.5mm (255.0mm) 176%

注) 梅雨は季節現象であり、その入り・明けは平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。このため、時期の表現は「**日ごろ」としています。